

## Press Release

【報道関係各位】

2017年 8月吉日

公益財団法人ポーラ美術振興財団

### ポーラ美術館、現代美術展示スペースのオープニング展に 橋爪 彩「Girls Start the Riot」展を開催決定！新作の発表も！ 10月1日（日）より開催。



ポーラ美術館（神奈川県、箱根）は、開館 15 周年を機に、新たに未来を切り拓く現代美術の作家を紹介するスペースを新設します。このスペースのオープニング展として、橋爪彩の個展「Girls Start the Riot」を、10月1日（日）から2018年1月8日（月）まで開催いたします。

19～20 世紀の西洋絵画の優品を収蔵するポーラ美術館が、初回展示としてこの作家を取り上げる理由は、卓越した描写力と独自の世界観を通じて、西洋絵画への絶え間ない問いかけを、橋爪が続けている点にあります。

本展のタイトルは、橋爪が伝統的な西洋絵画のアップデートを試みるシリーズ「After Image」（2010年-）における、初期の代表作《Girls Start the Riot》（2010-2011年）に由来しています。橋爪は、精緻かつ丹念な描写を特徴とした絵画を制作し、約5年間の滞欧生活を経た後に、ボッティチェリやカラヴァッジョといった伝統的な西洋絵画の翻案に着手し、近作ではマグリットやゴッホ等をテーマとした作品に取り組んでいます。

《Girls Start the Riot》（2010-2011年）は、セザンヌの静物画をモチーフにした作品です。橋爪は、伝統的な西洋絵画のイメージの中に、顔の見えない3人の少女が無遠慮にも入り込んだ情景を描き出しました。作品タイトルにある「暴動（=Riot）」という言葉には、西洋絵画の伝統や権威に対する抵抗を明確に示すとともに、まったく新しい現代的な息吹を作品に与えるという意味が込められています。本展では、「After Image」シリーズの原点でもあり、マニフェストでもあった《Girls Start the Riot》を出発点として、このシリーズにおいて橋爪の描いた、現在に至るまでの軌跡をご紹介します。

左：《Girls Start the Riot》2010-2011年 高橋コレクション蔵、中央：《Les amies》2016年 高松市美術館蔵

右：《This isn't Happiness》2017年 個人蔵 \*全て、橋爪彩 ©Sai HASHIZUME

#### ◆橋爪 彩 (はしづめ・さい)

1980年東京生まれ。東京芸術大学大学院修了。文化庁新進芸術家海外留学制度研修派遣生やポーラ美術振興財団在外研修員として、フランスやドイツに滞在。帰国後は、国内外で精力的に活動。主な展覧会に、「ポーラミュージアムアネックス展 2012“華やぐ色彩”」ポーラミュージアムアネックス（東京、2012年）、「DOMANI・明日展—未来を担う美術家たち〈文化庁芸術家在外研修の成果〉」国立新美術館（東京、2013年）、「ノスタルジー&ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉」国立国際美術館（大阪、2014年）、「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.04」高松市美術館（2014年）、「Beautiful Stranger」ポーラミュージアムアネックス（東京、2014年）、「This isn't Happiness」イムラアートギャラリー（京都、2017年）など。2014年秋には、個展「Beautiful Stranger」と同タイトルの初作品集を刊行、またポーラ RED B.A のメインビジュアルとして《RED SESSION》を制作。島田雅彦『美しい魂』（新潮社）、金原ひとみ『ハイドラ』（新潮社）、などの装画を担当。



#### ◆ 今後の展示予定

竹村京展（仮）（会期：2018年1月13日（土）～3月11日（日））

竹村 京（たけむら・けい）

1975年東京生まれ。高崎市在住。2000年、ポーラ美術振興財団在外研修員としてベルリンにて研修。写真や描かれたドローイングの上に刺繍を施した布を重ねた平面のインスタレーションを発表。第15回シドニー・ビエンナーレ（2005年）に参加するなど、国際的に高い評価を獲得しながら活動の場を広げている。主な個展として「A part Apart」トーキョーワンダーサイト（2008年）、「Kei Takemura」インスティテュート・オブ・コンテンポラリー・アート、シンガポール（2012年）、「which second was the most beautiful」ギャラリー・イベントスベルガー（ベルリン、2017年）など。

流麻二果展（仮）（会期：2018年3月17日（土）～5月中旬（予定））

流 麻二果（ながれ・まにか）

1975年香川県育ち。1997年女子美術大学芸術学部絵画科洋画専攻卒。自然の風景や日常の中で出会う人々への関心を出発点として、絵具を幾重にも重ね、色彩にあふれた絵画を作り上げる。2002年文化庁新進芸術家在外研修員、2004年ポーラ美術振興財団在外研修員としてアメリカとトルコで研修。主な展覧会に「一葉 Rivers need Springs」ユカ・ツルノ・ギャラリー（東京、2015年）、「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.05 『見える風景／見えない風景』」高松市美術館（2016年）、「Wraparound」Miyako Yoshinaga Gallery（ニューヨーク、2016年）など。子どもたちにアートを届ける非営利団体「一時画伯」発起人。

<報道関係者お問合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当：中西、福田

TEL:0460-84-2111/ FAX:0460-84-3108/ MAIL:pr@polamuseum.or.jp

ポーラ美術館広報事務局 担当：名取、屋木

TEL:03-4570-3172/ FAX:03-4580-9155/ MAIL:polamuseum.pr@prap.co.jp